

東仙道地区

No.	分野	地区別	質問・意見・要望等	議員と語ろう井戸端会議当日の議員回答内容	後日担当課回答	担当委員会
1	地域交通	東仙道	地域公共交通（バス路線）について、利用数が少ないため便数が少ないのはわかるが、自宅からバス停に行くまで距離があるが対応策はないか。	地域公共交通特にバス路線の問題については、皆さんもご承知のとおり減便となり、利便性が低下している。執行部はもとより、議会・議員においてもこの問題については真摯に向き合い、対応策を検討しているところである。追って公民館を通じて報告する。	バス路線が運行していない交通空白地については、現在、乗合タクシーや過疎バスにより対応している。これらには3つの運行形態があるが、なかでも区域運行では、あらかじめエリアを定め、エリア内であれば路線に関係なく自宅付近等に立ち寄ることが可能である。各地域での利用状況や実情を踏まえ運行形態の変更などを検討したい。	総務文教
2	地域交通	東仙道	バス路線について、バス停で手を挙げたが置いて行かれた。交通事業者に苦言を呈する。	このような事態があったことを担当部署へ伝える。		総務文教
3	地域交通	東仙道	バスについて、運転免許返納者に対する割引はあるが、返納者に限定しなければ、もっと利用者が増えるのではないか。	すでに免許返納者への補助は行っているが、未返納者へのバス助成は行っていないと記憶する。意見を担当部署へ伝える。	地域公共交通の利用促進については、益田市地域公共交通計画において公共交通の周知や住民との意見交換、乗り方教室等を掲げている。現在は、これらを実施するなかで利用促進を図って行くこととしているが、今後の利用状況等を踏まえつつ意見のあった内容も含め他の施策についても検討していきたい。	総務文教
4	地域振興	東仙道	少子高齢化について、若い人の働き場がない、若い人が増えるための施策はあるのか。魅力のあるまちづくりを推進し、流出を防ぐべきである。議論だけでなく行動すべきである。	この問題の特効薬的な対策は即答しかねるが、少子高齢化対策の議論だけでなく、行動とセットで推進すべきは同感である。市内企業では人手不足で事業縮小せざるを得ない状況である。この状況をいかに打破するか、真剣に考えることは必要。担当課に意見を伝える。	若い人の雇用については、担当課や市内事業所とも連携しながら、働く場の周知を引き続き実施していきたい。市内20地区の地域自治組織においては、住民主体で地域の魅力発信や課題解決にも取り組んでおられることから、市としても引き続き支援していきたい。	総務文教
5	広報広聴	東仙道	市広報を見て、市公式LINEを登録した。ゴミ出し日の通知が来るが前日19時に連絡が来る。冬期はもう暗いので連絡を早められないか。またこのLINEを活用し、若者が市に意見など提言できないのか。	翌朝を見越しての発信なのではないか。地区ごとの事情を勘案して対応するよう伝える。現在はLINE機能を拡張しそのような意見を受けられるようにしていると記憶している。この意見を担当課に伝える。	LINEでの配信は、運用上、配信内容に応じて配信する時間帯を設定しており、防災情報などの急を要する情報は随時配信し、イベント情報などは18時までの時間帯（主に、開封率が高いとされる12時、18時）に配信している。ごみ収集日のお知らせについては、ごみステーションの管理上、収集日の朝に出すよう周知している地区もあること、また、頻繁な通知で利用者の負担とならないようにするため、翌朝のごみ出しを見越して、一律に19時に配信することとしている。LINEを活用した市への提言については、現在は対応していないが、今後、機能拡張により対応できるようにしたいと考える。	総務文教
6	選挙	東仙道	国政選挙が行われたが、投票所の数が多いのではないか。集約すべきではないか。立会人の確保も難しい。見直し検討を要望する。	市の選挙管理委員会へこのような意見があったことを伝える。	投票所の統廃合により、平成16年11月合併時の62投票所から現在は49投票所と順次見直しを行ってきている。今後も有権者数の減少・高齢化等、各投票所の実情や有権者の変動等を踏まえ、地元有権者のご意見を伺いながら統廃合を検討していく必要があると考えている。	総務文教
7	学校教育	東仙道	GIGAスクール構想で1人1台タブレットを所有しているので、それを有効に活用して欲しい。	要望として執行部に伝える。		総務文教
8	地域医療	東仙道	医療の問題について、来年美都診療所の医師がいなくなると聞いた。無医地区にならないように対応を願う。	地域医療については、福祉環境委員会で地域医療の存続に向けて議論している。大学病院などにも要望して無医地区にならないように働きかけている。	美都診療所について、令和7年度からの後任医師は、12月12日の医師会理事会により三浦義夫（みうらよしお）先生に決定された。今後もこれまでの診療を引き継ぎ、美都地区唯一の診療所で地域の健康を守る要として、住民の方々が安心して暮らせるよう医療体制の維持を図っていきたい。	福祉環境
9	高齢者福祉	東仙道	特別老人ホームへの入居待ち状況を見える化して欲しい。社会的地位の高い人や口うるさい人が優先されたらと聞くと、実際はどうなのか。入居を待っている人の数を示してほしい。	意見があったと担当課に伝える。	施設の申込状況の把握は市では行っていない。申込みから入所までそれぞれの施設で管理されている。必要な時にそれぞれの施設へ問い合わせをお願いしている状況である。また、入所にあたっては判定会を経て適切に決定がされていると認識している。	福祉環境
10	空港	東仙道	萩・石見空港について、搭乗者数増大の一環として、首都圏若者に助成してでも飛行機を利用し一次産業の体験をさせたらどうか。	神奈川県川崎市との友好姉妹都市提携をしている。子どものスポーツ交流や山間地交流を実施した実績がある。		経済建設
11	空港	東仙道	空港利用について、イン対策とは別にアウト対策の助成充実を切望。	ANAが行っているタイムセールの活用を説明。		経済建設
12	土木	東仙道	市道の管理について、側溝の埋塞、河川の土砂堆積除去の問題等対応いただきたい。	市道の管理、河川土砂堆積除去について持ち帰り、担当課に伝え、追って回答する。	具体的な場所等、情報提供のあった場合、あらためて現地を確認のうえ、対応を検討する。	経済建設
13	土木	東仙道	側溝の掃除後のゴミの捨て場がない。捨て場があっても遠い。残土処理など良い方法はないか。	県道市道の管理もあるので担当課に伝える。	側溝清掃等で排出された土砂等については、益田・吉田・高津及び隣接自治会においては、土のう袋に入れ、集積し、集積箇所について環境衛生課に申請することにより回収を行っているが、美都町、匹見町等については、回収を行っておらず現状では対応が難しい。土砂以外のゴミについては別途、市環境衛生課へご相談いただきたい。	経済建設